

新まちづくり計画（H16～18）追加補強事業総括調書（単位：千円）

予 算 事 業 名		中央図書館運営管理(時間延長)		
担 当		教育委員会中央図書館管理課 小野 電話512-7330		
基 本 目 標		5	ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ	
重 点 戦 略 課 題		2	さっぽろを支え、発信する人づくり	
施 策		1	多様な学習機会の提供とその成果を発揮できる環境づくり	
関 連 新 ま ち 計 画 事 業 名		図書館施設の拡充		
		予算額	決算額	事 業 費 の 主 な 内 訳
事 業 費		26,400	26,394	非常勤職員7名増 19,147千円 維持管理費 7,247千円
財 源 内 訳	国・道支出金			
	市 債			
	そ の 他			
	一 般 財 源	26,400	26,394	
事業実施(拡充)の背景・目的・考え方				事業内容(量・場所・規模等)
長年にわたって、市民から開館日・開館時間についての要望は多く、平成11年度から、中央図書館において平日午後7時までの夜間開館を実施、また平成13年度からは、中央図書館・各地区図書館・各区民センター図書室において、5月3日～5日と11月3日の4日間の祝日開館を実施してきた。 しかし、余暇時間の増加や生涯学習意欲の高まりなど社会情勢の変化に伴い、開館日時拡大の要望は増加の一途をたどっている。このような状況に鑑み、より多くの市民に図書館を活用してもらい、またその利便性を高めるためにも、現行体制から開館日・開館時間を全館的に拡大することが必要になってきている。 また、他政令指定都市や近隣市町村図書館においても、祝日開館や夜間開館の実施が進められており、市民の利用機会を拡大することは全国的な流れとなっている。				<17年度> 「札幌市図書館ビジョン」を推進すべく、中でも重要施策として位置づけた「開館日及び開館時間の拡大」を最優先課題として取組み、早期の実施を目指し、全館をあげて総合的に検討を進めた結果、18年度から実施できる運びとなった。 <18年度> 開館日及び開館時間拡大の実施に伴う新しい運営体制を確立する。また、今後一層のサービスアップに十分対応できる体制づくりについても、引き続き検討を行っていく。
評 価 (成 果)			課 題	
年間の開館日数が45日間の増加となり、夜間開館による開館時間も平日20時まで延長したことから、図書館利用のサービスアップに大きくつながり、年間の貸出冊数が40%(約343,000冊)の増加となった。			開館時間や貸出冊数などの拡大とともに、利用者の多様化したニーズに対応するための利用しやすい図書館として、サービスの向上を図っていくことが課題となる。	
19 年 度 以 降 の 方 向 性 ・ 事 業 の 予 定				
今後は、インターネットを利用した図書館サービスの拡充及びその運営方法を検討し、より一層の図書館利用の機会拡大を図る。				